

# 建災防宮城県支部からのお知らせ

令和4年9月1日

## 全国労働衛生週間準備期間が始まります！

本週間：令和4年10月1日～10月7日（準備期間 9/1～9/30）

**あなたの健康があつてこそ**

**笑顔があふれる健康職場**

令和3年度の定期健康診断結果の異常所見率は全国58.7%（宮城県64.0%）となっており、健診後の事後措置や健康増進対策が重要となっています。

また、長時間労働による健康障害の労災請求件数が753件（建設業105件）、職場ストレスによる心の病に係る労災請求件数は2,346件（うち建設業122件）と高水準で推移しております。

会員各位におかれましては、全国労働衛生週間を機に、心身の健康管理の意識高揚を図り、労働衛生管理活動の一層の促進を図っていただきますようお願いいたします。

### 全国労働衛生週間

事業者が実施する重点事項抜粋（準備期間）

- (ア) 過重労働による健康障害防止対策事項
- (イ) メンタルヘルス（心の健康管理）対策
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止
- (エ) 転倒・腰痛災害の予防及び「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」に基づく健康づくりの推進
- (オ) 化学物質による健康障害防止対策
- (カ) 石綿による健康障害防止対策



実施要綱は建災防本部ホームページか「建設の安全(号外)」をご覧ください。

### 職場環境改善講習会のお知らせ

標記講習会を下記日程で実施します。職場の快適化とメンタルヘルス対策にお役立てください。詳しくは当支部ホームページ講習案内をご覧ください。

10月3日（月）	ハラスメント防止法、時間外上限規制と長時間労働による健康障害防止対策
10月12日（水）	メンタルヘルス対策と建設業での留意点、健康KYと無記名ストレスチェックの実施方法



建災防宮城県支部 HP

建設業労働災害防止協会 宮城県支部

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階

電話 022-224-1797 Fax 022-265-5604

国内で製造、使用されている化学物質は数万種類にのぼり、その中には、危険性や有害性が不明な物質が多く含まれています。化学物質による休業4日以上の労働災害のうち、労働安全衛生法（特定化学物質障害予防規則等）の規制の対象となっていない物質を起因とするものが約8割を占めています。

今般、規制の対象となっていない物質への対策の強化を主眼とし、事業者が、リスクアセスメントの結果に基づき、国の定める基準等の範囲内で、ばく露防止のために講ずべき措置を適切に実施する制度が導入されることとなりました。（主要な改正は、令和5年4月と令和6年4月の施行となります。）

（主要改正内容）

- ① 化学物質管理者の選任と化学物質のリスクアセスメント管理の実施
- ② 保護具着用管理責任者選任
- ③ 雇入れ時等の化学物質等に係る教育の拡充
- ④ SDS(安全データシート)等による定期確認等
- ⑤ リスクアセスメントに係る記録の作成保存
- ⑥ 化学物質による労災事案が発生した事業場への労基署の指示
- ⑦ リスクアセスメント対象物に係るばく露低減措置、健康診断等の措置
- ⑧ 衛生委員会の付議次項に追加
- ⑨ 事業場におけるがん発生の把握の強化

制度の内容・職場の化学物質管理に関する相談窓口

職場における化学物質管理に関する以下のような相談にお応えする窓口を設置しています。

- ・制度の内容に関する相談 ・職場で使用する化学物質のラベルやSDSに関すること
- ・リスクアセスメントの実施方法等

事業者のための化学物質管理無料相談窓口（テクノヒル株式会社 化学物質管理部門）

電話 050-5577-4862 FAX: 03-5642-6145

受付時間 平日10:00~17:00（12:00~13:00を除く）※土日祝日・国民の休日・年末年始を除く

開設期間 2022年4月1日~2023年3月17日（以降の開設期間とお問い合わせ先は未定）

メールでのお問い合わせも受け付けています。

詳しくはテクノヒル株式会社のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.technohill.co.jp/telsoudan/>

注意！

熱中症死傷者 過去5年で最多！7月末で死亡13名を含む252名！

厚生労働省から、令和4年7月末の熱中症による死傷災害の発生状況（速報値）が発表されました。

過去5年で最多となっており、県内でも8名が休業しております。

会員各位におかれましては、9月も毎年熱中症が発生していることを踏まえ、現場への注意喚起方よろしくお願ひします。

職場における熱中症死傷災害（全国全産業）			
単位：人（括弧内死亡者）			
年	6月	7月	1～7月計
令和4年	118 (5)	116 (8)	252 (13)
令和3年	26 (0)	55 (2)	90 (3)
令和2年	57 (0)	22 (2)	93 (3)
令和元年	24 (0)	20 (7)	72 (7)
平成30年	40 (1)	129 (7)	186 (8)
※ 平成30年～令和3年計の9月発生状況 232 (5)			